

ベラルーシ公開情報取りまとめ

(2月9日～2月15日)

2021年2月17日

在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

- 2020年、ベラルーシ貿易高、2019年対比14%減少。(2/10)
- 欧州原子力安全規制部会(ENSREG)、オストロヴェツ原発を視察。(2/10)
- 2月11日から12日にかけて、共和国宮殿にて第六回全ベラルーシ国民会議開催。(2/11、2/12)

【ルカシェンコ大統領動静】

●クハレフ・ミンスク市執行委員会委員長(当館注:市長に相当)と会談

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

- ・昨年、特に下半期に得た教訓は何であったろうか。抗議運動参加者は、市の公共資産に損失を与えた。彼らは市に壊したものの弁償をしたらどうか。
- ・市の発展はいかがだろうか。何があろうと、今年は耐える必要がある。ミンスクは首都であり、国の顔であり、他の都市の模範になる必要があろう。
- ・ベラルーシの冬は、(近年は)冬らしくなかったが、今年は、本物の冬である。気温はそこまで寒くはないが、強風と雪がある。ずいぶんこんな冬はなかった。しかし、人々は通りの雪かきが間に合っていないと不満をのべている。人々を動員し、雪かき用品を提供する必要がある。
- ・市内にある、現在使用されていない工場等の建物を改修し、秩序を保つ必要がある。

クハレフ委員長の発言要旨は以下の通り。

- ・執行委員会は、ミンスク市の経済について強い関心を払っている。昨年、同市の実質賃金成長率は10%であり、現在1782ルーブルである。製品売上成長率は9%、利益成長率は17%であった。
- ・現在の経済状況において、企業にとって非常に良い結果であった。売上高利益率は9%であった。住宅建設のKPIも達成した。

(2/9 大統領公式ホームページ)

●全ベラルーシ国民会議参加(初日)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

(1) 憲法改正、退任時期

- ・憲法改正案は今年中に用意され、国民的議論が行われる。来年の初めには国民投票にかけられる。
- ・新憲法採択後、一年間で多くの法律を再編成・再策定することになる。法的基盤を改変する必要が生じる。我々にはそれをやりきる能力があると確信。
- ・それらを了した時、彼(当館注:ルカシェンコ)はいつ去るのか、という問題が解決する。ただし、余計なことをしでかさず、我々は権力移行を平穩に行う必要がある。

(2) 自らの退任の条件

- ・肝要な条件は、国内に平和、秩序があり、抗議活動が一切無いこと。(誰もが)国を転覆させず法の枠内で意見表明すること。
- ・あらぬ人達が権力につき、その人達が異なる意見を持つならば、第2の条件として現大統領の支持者が一切の害を被らないということも書いておこう。

(3) 対外関係

- ・欧州は我々の共通の家であり、ベラルーシは地域の安全保障分野における安定的で信頼の置けるパートナーで有り続ける。我々は平和構築の戦略的イニシアティブに積極的に参加する用意がある。
- ・昨年末にベラルーシが西側の攻撃対象となった理由の一つは、中国との戦略的協力関係。
- ・ベラルーシにとってはEUとの関係も中国との関係も重要だが、今までもこれからも主要な経済的パートナーであり戦略的同盟国はロシアである。

(4) 抗議活動について

- ・ベラルーシにおいてカラー革命を繰り返させてはな

らない。

・無職の者達が抗議の最前線に立ち、治安部隊員を殴りつけていた。

・ベラルーシ国立大学という最も抗議が活発な大学でも、1月29日の自分(ルカシェンコ)の同大学訪問後に教員に実施してもらったアンケートによれば、学生の55%は現大統領と現政権を支持している。

(2/11 大統領公式ホームページ)

●全ベラルーシ国民会議参加(二日目)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

(1)企業やビジネスマンへの要請

・あなた方には国家のために働くことを要請する。もし、あなた方がこの方針から外れることがあれば、容赦しない。ビジネスの社会的責任を強調する。金持ちは、多く支払い、貧者を支援すべきである。

(2)汚職

・私が大統領である限り、ベラルーシに賄賂はない。隣国のロシアを見ると、官僚達がどんな制服を着て、どんな時計を付けているか分かる。

・社会アンケートの結果によれば、ベラルーシにおける収賄問題は5~6番目を占めていた。他方、隣国では重要な不幸であると指摘されている。

(3)結びの言葉

・ベラルーシ経済モデルの社会的志向は、不変である。

・平和で穏やかな発展の支持者は、結束してほしい。発展や変化は、革命的ではなく、発展的方法で実現されるべきである。

(2/12 大統領公式ホームページ)

●習近平・中国国家主席へ春節の祝電を送付

祝電要旨は以下の通り。

・先見性や効果的な社会経済政策のおかげで、中国は貧困から完全に脱し、小康社会の実現という二つの百年目標の最初の一つを達成した。

・新型コロナウイルスとの戦いにおける成功は、世界に対して、強く現代的な中国は国民と国家を守ることができることを示した。

・私は、辛い時期にあるベラルーシに対する中国からの適時の支援を高く評価する。中国は、いつでもベラルーシに期待して頂いてかまわない。我々の友好は、我々が協力して克服している多くの試練に耐えた。そのため、鉄の兄弟と呼ぶことができる。

・2021年は二国間パートナーシップを新たな水準へと引き上げ、尊敬と平等、正義と相互に利益のある協力を心がけ、国際関係構築における相互作業を継続していく。

(2/12 大統領公式ホームページ)

【外交】

●マケイ外務大臣、ラブロフ露外務大臣と電話会談し、二国間関係と外国からの内政干渉について協議。

(2/9 ベラパン通信)

●セマシュコ駐ロシア・ベラルーシ大使、ミレル・ガスプロム会長と会談し、ガス分野における二国間の協力について協議。

(2/13 ベラパン通信)

●マケイ外務大臣、国際情勢やベラルーシ外交政策、露ベラルーシ関係に関する露 RBK のインタビューに回答。

(2/15 ベラパン通信)

【経済】

●2020年、ベラルーシ貿易高、2019年対比 14%減少。

(2/10 ベラパン通信)

●2021年1月、インフレ率、1.1%。

(2/10 ベラパン通信)

●欧州原子力安全規制部会(ENSREG)、オストロヴェツ原発を視察。

(2/10 ベラパン通信)

●2020年、対ベラルーシ外国投資額、2019年対比、

13億ドル(約13%)減少の87億ドル。

(2/11 ベラパン通信)

●欧州議会、オストロヴェツ原発に関する決議を採択し、稼働に際する問題や EU 加盟国と同原発の距離の近さ、情報の不透明性に対する懸念を表明。

(2/11 ベラパン通信)

●エネルギー省、欧州議会のオストロヴェツ原発に関する決議を、政治色が濃く帯びたものであると批判。

(2/12 ベラパン通信)

●2020 年対ベラルーシ中国投資額、2019 年対比、約 75%減少の 23.7 百万ドル。

(2/15 ベラパン通信)

【内政】

●2月11日から12日にかけて、共和国宮殿にて第六回全ベラルーシ国民会議開催。

(2/11, 12 ベラパン通信)

●2月11日の抗議運動にて約15名拘束。

(2/12 ベラパン通信)

●保健省、60歳以上に対する対新型コロナウイルス露製ワクチン「スプートニクV」の接種を許可。

(2/12 ベラパン通信)

【抗議側の動き】

●チハノフスカヤ元候補陣営、「ベラルーシ国民の勝利の戦略」を発表。

(2/9 ベラパン通信)

●チハノフスカヤ元候補、イタリア議会外務委員会のオンライン公聴会に参加し、イタリア政府にベラルーシにおける国際犯罪捜査への参加を提案。

(2/10 ベラパン通信)

●チハノフスカヤ元候補、全ベラルーシ国民会議に関するビデオメッセージを公表。

チハノフスカヤ氏の発言要旨は以下の通り。

・この2日間、我々の全ての懸念が的中した。ルカシエンコは、彼の下でのベラルーシがどのようなものかを示した。それは、恐ろしい危機、全体主義的孤立、経済破綻、主権への脅威である。

・ノーメンクラトゥーラ的な会議で、我々が抱える問題の一つでも解決しただろうか。いや、解決していないだろう。そのため、私は、これを聞きたくないし、私の子供には、我々の目の前で裏切ろうとしたり、破壊しようとする国で生活して欲しくない。

・罰金ではなく給料が上がり、政権と誠実な裁判所が厳格に分離され、政治犯のいないベラルーシで生きたい。

(2/12 ベラパン通信)

●チハノフスカヤ元候補、ウクライナ最高議会議員グループ「民主的なベラルーシ」とのオンライン会談に参加。

(2/13 ベラパン通信)

●ラトウシュコ評議会幹部会メンバー(国家危機対応局長)、アドメナス・リトアニア外務次官と会談し、第4次制裁に関し協議。

(2/13 ベラパン通信)

(了)